

公益財団法人 サントリー芸術財団 音楽事業部

107-6019 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル19階 私書箱509号 Tel: 03-3582-1355 Fax: 03-3582-1350

Nosfa0060 (2024.3.27)

**第23回（2023年度）佐治敬三賞は  
「サウンドパフォーマンス・プラットフォーム特別公演  
安野太郎ゾンビ音楽『大霊廟Ⅳー音楽崩壊ー』」に決定**



すべて©丸尾隆一

公益財団法人サントリー芸術財団（代表理事・堤 剛、鳥井信吾）は、わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈る「佐治敬三賞」の第23回（2023年度）受賞公演を「サウンドパフォーマンス・プラットフォーム特別公演 安野太郎ゾンビ音楽『大霊廟Ⅳー音楽崩壊ー』」に決定しました。贈賞式は2024年5月13日（月）に執り行います。

●選考経過

応募のあった2023年実施公演について2024年3月9日（土）当財団会議室にて選考会を開催。慎重な審議の結果、第23回（2023年度）佐治敬三賞に「サウンドパフォーマンス・プラットフォーム特別公演 安野太郎ゾンビ音楽『大霊廟Ⅳー音楽崩壊ー』」が選定され、3月25日（月）の理事会において正式に決定された。

●賞金 200万円

●選考委員は下記の9氏

浅井佑太、伊藤制子、岡田暁生、小室敬幸、白石美雪、長木誠司、  
沼野雄司、野々村禎彦、水野みか子（敬称略・50音順）

## ●受賞公演

サウンドパフォーマンス・プラットフォーム特別公演

安野太郎ゾンビ音楽『大霊廟Ⅳ—音楽崩壊—』

### <贈賞理由>

安野太郎がこれまで継続してきた「ゾンビ音楽<sup>\*</sup>」は、近年、あらたな形のパフォーマンスに変化している。昨年からは彼がテーマにしているのは、「音大生のキャリア構築」という、ある意味ではきわめて非芸術的な問題。実際に公演に足を運んでみれば、彼はふいごを踏み、キックボクシングで痛めつけられ、仲間とともに行先がよくわからないトークを行なうばかり。その過程で特に鋭い知見が披露されるわけではないし、そもそも「ゾンビ音楽」が鳴り響く瞬間も、以前に比べてかなり少なくなっている。

ある意味では、相当に「退屈」な公演であるということも可能だろう。しかし、小器用に流行を取り入れるのとは正反対に、自らの内奥に湧きあがる疑問に、「ゾンビ音楽」というメディアを借りながら、かたちを与えようとする点において（それは本当に身体的な「運動」でもある）、この公演は容易には真似のできないオリジナリティがある。

もちろん破天荒な公演だけに、選考委員の受け止め方は様々だった。演奏会という枠をダダイズム的なシアターピースによって打破しようとしたという評価もあれば、一昨年の「大霊廟Ⅲ—サークル・オブ・ライフ—」に比べるとむしろ後退しているのではないかという意見もあり、賛否含めて多くの議論が交わされた。しかし、多様な議論を喚起すること自体が本公演の価値ともいえ、さらには安野太郎の一連の活動について、何らかのかたちで顕彰したいという思いについては全員が一致しており、佐治敬三賞を贈ることが決定した。

※ゾンビ音楽：安野太郎が発明した、リコーダーを演奏する自動演奏機械による音楽。機械の演奏であるため、人間の演奏のように音を合わせようとする意思が無い。ゆえに独特のゆらぎがある音響が生まれる。大霊廟シリーズにおいては、機械が指を動かす装置に加え、人間がふいごを踏んで楽器に空気をおくる装置が備えられるようになった。人間が機械のために奉仕するこの構図に安野は様々なテーマを投影してきた。

(沼野雄司委員)

### <公演概要>

名称：サウンドパフォーマンス・プラットフォーム特別公演

安野太郎ゾンビ音楽『大霊廟Ⅳ—音楽崩壊—』

日時：2023年10月14日（土）

2023年10月15日（日）

会場：愛知県芸術劇場 小ホール

出 演：

「ふいガー」：今井貴子（フルート奏者）、大内孝夫（名古屋芸術大学教授）、  
内藤穂乃果（愛知県立芸術大学3年）、  
安野太郎（作曲家・愛知県立芸術大学准教授）

「パンチャー」：大石愛莉（愛知県立芸術大学4年）  
望月郁亜（愛知県立芸術大学3年）

「オルゴラー」：中ムラサトコ（ボイスパフォーマー）

「キックボクサー」：大石駿介（キックボクシング元世界チャンピオン）

作曲・作・演出など：安野太郎

演出補・ブレーン：小野寺啓

舞台監督：渡部景介

音響：山口剛（合同会社ネクストステージ）

照明：畔上康治（愛知県芸術劇場）

制作：菅井一輝

プロデューサー：藤井明子（愛知県芸術劇場）

ビジュアルイメージデザイン：武部敬俊

記録：丸尾隆一、西野正将

主 催：愛知県芸術劇場

後 援：愛知県立芸術大学

〔ニュースリリースに関するお問い合わせ・広報用画像お申し込み〕

公益財団法人サントリー芸術財団 音楽事業部

ongakujigyo@suntory.co.jp

TEL：03-3582-1355（平日10：00～17：00）

FAX：03-3582-1350

以 上

(ご参考)

### 佐治敬三賞について

公益財団法人サントリー芸術財団(代表理事・堤 剛、鳥井信吾)は、故・佐治敬三(サントリー元会長、サントリー音楽財団元理事長)の功績を記念して、2001年度(平成13年度)から「佐治敬三賞」を創設しました。

この「佐治敬三賞」は佐治の音楽への深い愛情と理解およびチャレンジ精神、パイオニア精神を承継し、新しい世紀のわが国における音楽公演活動の一層の振興を願って、氏の名を冠した新しい賞として制定されました。

この賞は、毎年わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈られるもので、応募のあったものの中から選定されます。賞金は200万円です。

故・佐治敬三は、早くから文化事業への支援に力を入れ、特に音楽界においては1969年(昭和44年)に鳥井音楽財団(現サントリー芸術財団)を設立、サントリー音楽賞をはじめとするわが国の洋楽の振興を目的とした諸事業のほか、東京初のコンサート専用ホール「サントリーホール」の建設・運営などを行ってきました。

1999年11月3日に急逝した佐治の遺族から“音楽界のために役立ててほしい”として遺産の一部が寄付されたことから、当財団で検討した結果、「佐治敬三賞」の創設にいたしました。

### これまでの受賞公演

#### 第1回(2001年度)

「篠崎史子 ハープの個展 VIII ～新たな領域を求めて～」

2001年10月19日 東京文化会館 小ホール

「Just Composed 2001 in Yokohama ～現代作曲家シリーズ

～大野和士が描く新世紀の音楽絵巻」

2001年8月31日 横浜みなとみらいホール

#### 第2回(2002年度)

「アンサンブル・ノマド2002年度定期演奏会#1」

2002年9月17日 東京オペラシティ リサイタルホール

#### 第3回(2003年度)

「現代の音楽展2003 室内オーケストラの領域 III」

2003年3月17日 東京文化会館 小ホール

第4回（2004年度）

「三井の晩鐘」

2004年10月24日 イシハラホール

第5回（2005年度）

「next mushroom promotion vol. 8 『細川俊夫～50年のランドスケープ』」

2005年10月15日 ムラマツリサイタルホール新大阪

第6回（2006年度）

「武生国際音楽祭2006」

2006年9月2日～10日 越前市文化センター 他

第7回（2007年度）

「フランス現代音楽からの潮流～井上麻子×藤井快哉DUO」

2007年11月17日 兵庫県立尼崎青少年創造劇場 ピッコロシアター

第8回（2008年度）

「実験室 vol.2 『偽のアレッキーノ／カンパネッロ』」

2008年3月27日・28日 ミレニアムホール

第9回（2009年度）

「クロノイ・プロトイ 第5回作品展～弦楽四重奏の可能性」

2009年12月9日 東京オペラシティ リサイタルホール

第10回（2010年度）

「井上郷子<sup>きょうこ</sup>ピアノリサイタル#19 モートン・フェルドマン作品集」

2010年2月28日 東京オペラシティ リサイタルホール

「東京シンフォニエッタ第28回定期演奏会 湯浅譲二特集」

2010年12月10日 東京文化会館 小ホール

第11回（2011年度）

「林千恵子メゾソプラノ・リサイタル『アペルギス&グロボカール』」

2011年7月27日 門仲天井ホール

「児玉桃ピアノ・ファンタジーvol.1」

2011年9月17日 京都府立府民ホール “アルティ”

2011年9月19日 東京文化会館 小ホール

第12回（2012年度）

「kuniko plays reich in Kyoto」

2012年3月18日 京都芸術センター 講堂

「Sep.5 2012 Thanks to John Cage」

2012年9月5日 サントリーホール ブルーローズ

第13回（2013年度）

「東京現音計画#01～イタリア特集I：

コンポーザーズセレクション1・杉山洋一」

2013年9月13日 杉並公会堂 小ホール

「<sup>とうほうきたん</sup>東方綺譚 “Nouvelles Orientales de Marguerite Yourcenar”」

2013年10月26日 津田ホール

第14回（2014年度）

「鈴木俊哉 リコーダー リサイタル《細川俊夫ポートレート》」

2014年2月11日 淀橋教会・小原記念チャペル

「ニンフェアール第10回公演 東洋と西洋の絃」

2014年7月20日 宗次ホール

第15回（2015年度）

「トム・ジョンソン《4音オペラ》」

2015年3月25日 杉並公会堂 小ホール

2015年3月28日 愛知県芸術劇場 小ホール

「DUOうたほぎリサイタル2015－春夏秋冬－」

2015年12月17日 東京オペラシティ 近江楽堂

2015年12月23日 青山音楽記念館 バロックザール（京都）

第16回（2016年度）

「伶楽舎第十三回雅楽演奏会～武満徹『秋庭歌一具』」

2016年11月30日 東京オペラシティ コンサートホール

第17回（2017年度）

「三輪眞弘+前田真二郎 モノログ・オペラ『新しい時代』」

2017年12月8日・9日 愛知県芸術劇場小ホール

2017年12月16日 あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール

第18回（2018年度）

「第三回 伊左治直 個展 ～南蛮劇場」

2018年12月2日 求道会館（東京都文京区）

第19回（2019年度）

「THE 鍵 KEY（ザ キー）」

2019年5月19日・25日・26日

旧平櫛田中邸アトリエ（東京都台東区）

第20回（2020年度）

「ペルセポリス ～秋吉台で聴くテープ音楽～」

2020年9月5日 秋吉台国際芸術村 ホールおよび中庭

「ぎふ未来音楽展2020 三輪眞弘祭 一清められた夜」

2020年9月19日 サラマンカホールよりライブ配信

第21回（2021年度）

「オーケストラ・ニッポニカ第38回演奏会 松村禎三交響作品展」

2021年7月18日 紀尾井ホール

「オペラ『ロミオがジュリエット』世界初演」

2021年11月5日・6日・7日 THEATRE E9 KYOTO

第22回（2022年度）

「北村朋幹 20世紀のピアノ作品

（ジョン・ケージと20世紀の邦人ピアノ作品）」

2022年10月8日 滋賀県立美術館 エントランスロビー

10月9日 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 小ホール

第24回（2024年度）「佐治敬三賞」応募について

2024年1～6月実施公演の応募受付は終了しました。

2024年7～12月実施公演の応募方法は以下のとおりです。

- ・対象公演 2024年7月1日から12月31日の間に国内で実施される音楽を主体とする公演。

- ・応募方法 所定の応募用紙にて応募いただきます。公演の記録映像、録音、印刷物などがある場合は資料として提出いただく場合があります。応募要項・用紙は、当財団ホームページからダウンロード下さい。  
<https://www.suntory.co.jp/sfa/music/saji/entry.html>
- ・応募期間 2024年3月1日（金）から4月30日（火）
- ・お問合せ先 公益財団法人サントリー芸術財団 音楽事業部  
ongakujigyo@suntory.co.jp  
TEL：03-3582-1355  
（平日10：00～17：00）  
FAX：03-3582-1350

以 上